



みんなで止めよう温暖化

地球温暖化は、人間が排出した温室効果ガスによって引き起こされていると考えられます。温暖化防止のために、一人ひとりが環境に関心を持ち、自分達のできることを考えてみませんか。

チーム・マイナス6%

近年、暖冬や集中豪雨、酷暑などの大きな環境の変化を体感する事が多くなってきています。

地球温暖化を始めとする環境問題は、普段の生活の中でのエネルギーや資源の消費によって引き起こされていると考えられます。

このような状況の中、温暖化防止のための活動「チーム・マイナス6%」に今年6月から南都町役場も参加しています。

「チーム・マイナス6%」とは、平成17年に発効した京都議定書で義務付けられた、平成20年から24年の間に温室効果ガス

の排出量を平成2年に比べて6%減らすという目標を達成するために、みんなで一つのチームのようになり力を合わせ、一丸となって地球温暖化防止に立ち向かう活動です。

南都町役場では、夏季期間中、一部を除く町内の公共施設（冷房）を28℃に設定し、涼しく働くことができる服装「クールビズ」を奨励しています。

地球温暖化防止というと、規模が大きすぎてピンと来ない方も多いかもしれませんが、一人ひとりができる身近な心がけが大きな力となります。

皆さんも身近にできることから少しずつ取り組んでみませんか。



一番目立つ位置を探しながら手洗い場に節水呼びかけのポスターを貼る児童

西伯小学校の取り組み

西伯小学校は、中小企業や学校、自治会、家庭などの、環境に優しい取り組みを、鳥取県が認定・登録する鳥取県版環境管理システム認定制度「TEAS」の認定を平成17年2月に受けて、環境配慮活動に取り組んでいます。

同校では、「①使わない電気はスイッチを切る、②給食の食べ残しを減らす、③えんぴつ、消しゴム、ノートなどを大切に使う、④水のムダ使いをしない、⑤校舎を立

て、4年生から6年生の環境委員の児童16人が中心となって、節水や節電などの活動を行っています。

子ども達は、給食時間の放送で、「水道を30秒間出しっぱなしにしていると、2リットルペットボトル3本の水がムダになる」と実物を使って説明したり、手洗い場や教室の電気スイッチの側に書きのポスターを貼るなどして、節水や節電を呼びかけています。また、割りばしを集めて製紙業者に持ち込むなどのリサイクル活動も行っています。

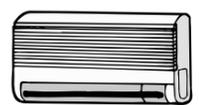
環境委員会を担当している先生は「児童が教室移動の時は「電気を切らないけん」と言ったり、歯みがきの時は「コップを使わんといけん」など、お互いに注意をしようようになりました。また、ごみ袋を無駄にしないように、ごみが少ない時は隣の教室のごみも一緒に入れて捨てるなど、自分たちで考えて積極的に行動してくれま

す。呼びかけの効果があつたように思います」と話されました。

温暖化防止って、何をやるの？

温度調節で減らそう

日の当たる窓にはカーテンやブラインドをおろしたり、涼しい服装を心がけて、冷房の使用を1℃控えるだけで、大きな削減効果が期待できます。



冷房は室温28℃に設定しましょう

水道の使い方減らそう

シャワーを1分間出しっぱなしにすると、10リットルになりま



蛇口はこまめに締めましょう

自動車の使い方減らそう

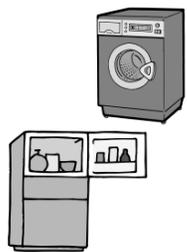
停車や駐車時のアイドリング時、ガソリンは1分あたり、約0.014リットルが消費されています。停車中はエンジンをオフにする習慣をつけましょう。



アイドリングを止めましょう

商品の選び方で減らそう

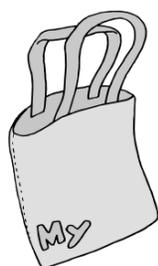
エアコンや冷蔵庫など、省エネ性能が表示されているものが増えました。中には電気料金が年間数万単位で違うこともあり、家計にも環境にも優しい製品が増えていきます。



省エネ家電やエコ製品を選んで買おう

買い物とごみで減らそう

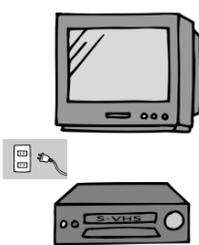
1人が一年間で使用するレジ袋は230枚。プラスチックボトルや容器を極力減らして、無駄な包装を持ち帰らないようにしましょう。



買い物にはマイバッグを当たり前

電気の使い方減らそう

電気製品を使用していない時、タイマーなどのために消費される電力が待機電力です。テレビや電子レンジなどの待機電力は、家庭の電気消費の10%を占めます。



コンセントからこまめに抜こう